

MS
CM002REGISTERED ORGANIZATION
No. 21408-190 24001日本医療機能評価機構
認定番号 LL20 号

かわら版

〔第331号〕

総務課 広報担当

年頭挨拶

「柔軟さと進化」

院長 柴 信行

新年あけましておめでとうございます。

2025年の干支は、乙巳(きのとみ)です。乙は柔らかさや創造性を、巳は知恵、再生、変化などを表しているそうですが、「柔軟に適応して新しく進化していく年」と捉えたいと思います。

昨年を振り返ってまず思うのは、5年ぶりで開催した夏祭りのことです。賑やかな出店や踊り、そして楽しいコンサート。地域と一緒に作り上げていく「身体と心のよりどころ」である病院にとって、ようやく「普段」を取り戻せたと思います。

次に重要なことは電子カルテの導入です。業務合理化、情報集約化、ペーパーレスを目標に総力をあげて取り組み、一定の成果は出たと思います。電子カルテは医療のIT化の一側面でしかありません。医療安全向上、診療の質の改善などを目的としていますが、この先には人工知能(AI)を活用した診療支援システムや遠隔医療があります。医療や介護の世界には「人間らしさ」が必要ですが、例外なく変化がやってきます。専門家だけが理解できる世界から、AIが医療スタッフの能力を超えて最新の知識を提供できる時代になります。我々はAIを柔軟に使いこなし来るべき時代へ向けて進化しなければなりません。

生物誕生から約40億年が経過しました。哺乳類が生き残った理由は、適応と進化の柔軟性があったからと指摘されています。少子高齢化の進行、疾患構成の変化、新興感染症の台頭、進行する温暖化と気象条件の悪化など常に世界は変化します。新しい年を始めるにあたって、われわれ医療者は変化に敏感に対応し、プロフェッショナルとしての矜持を失うことなく、患者さんやご家族に誠実に寄り添っていきたくと思っています。

《 facebook



Instagram



JUSENDO_KAGUYAMA

YouTube情報発信中》



SDGs

各種イベントや病棟のレクリエーション、病院近隣の情報などいろいろな情報を発信しております。

フォロー・いいねお待ちしております

